

第8回ワーキンググループ議事録

1212

日時 2013年11月21日(木) 美術室 19:05~21:00

参加者 都築徳紀、靱山勝人、山田美代子、山田亮、青山恵、池田真子、伊東江利子、
(順不同) 浦川正、大島令子、加藤裕美、近藤均、
〔世話人会〕生田創、加藤良行、佐藤雄亮、島田善規、山崎沙知 16名

メンバー20: まだ来ていない人もいますが、第8回ワーキンググループ(以下WG)を始めます。今日のテーマは前回のWGで決めたとおり、P.2(資料1) 5つのテーマのうち最初に話し合うテーマとした「施設利用と市民優先予約制度」について話し合います。今日は傍聴の方がお見えです。(某市民文化財団の傍聴者1さん、傍聴者2さん)では資料説明をメンバー30さんから。

メンバー30: P.3(資料2)~P.14(資料5-3)説明。

メンバー19: P.16(資料6)~P.23(資料8)説明。

メンバー20: みなさんお読みいただいていると思いますが、P.15(資料5-4)はメンバー27さんがみえたらご説明してもらおうと思います。

資料3にもいろいろな論点を記載していますが、いろいろな視点から論議できればと思います。ご意見は?

メンバー12: P.9、13~14を見て、ホールが週休2日と初めて知りました。P.19について、249日しか開館していないのに、抽選に出せない日にちが133日あり53%がマスタープランに基づいた事業をやっている。単純計算で一般へ貸出できるのは47%で、平日では集客がむずかしい事を考えると市民優先枠の要望が出る根拠がわかる資料だと思います。

文化の家はアトリビング(以下AL)も稼働率が高く、ALで練習してホールで発表する利用者も多いと思います。私の所属するある団体もよく抽選に外れるので練習場所を苦労して探し、本当に様々な場所で練習しています。自分のまわりの利用者の間ではALも市民優先予約の対象という誤解があるようです。

12月に文化の家フェスティバルがありますが、日ごろALで練習していて成果を発表する団体がどれだけいるのか疑問もあります。そのために貴重な土日のホールを使うのかと。

平日利用を増やす方法の一つの案として、来年消費税増額に伴う使用料の改定がありますが、土日と平日で使用料に差をつけたりすることにより、必ずしも土日だけでなくもよい利用者が平日に借りやすいようにする等の工夫をして予約が取れないという市民の不満を解消する方法もあるのではないかと感じます。

P.5 市民優先予約の対象となる団体要件の半数以上の会員が市民であるという条件は申請者を信用しているのでしょうかが名簿をごまかせば通ってしまうような規定なのではないでしょうか。私の所属しているオーケストラは、オケは80人くらいの団体ですから長久手市民が半分というのはあり得ないんです。長久手の規模のまちでアマチュアのオケがあるのは誇りに思っている良い事だと思います。でも、正直に団員名簿を出した

ら市外の団員が半数以上なので条件に当てはまりません。けれども例えば長久手市民の団員が 15 人だったらメンバー全体を 29 人として、あとはエキストラ出演とすれば市民優先団体の要件を満たしてしまうんです。実際はそのような申請はしませんが、抜け道のある制度だと思いました。

メンバー 20 : AL を使用している団体が稽古で多く利用していると言うご指摘ですか？

メンバー 12 : 違います。文化の家フェスティバルという事業があり、AL を日ごろ利用している人が練習の成果を発表する場なんですけど、実際の出演サークルは本当にいつもここを利用しているサークルなのかという疑問です。貴重な土日のホールなのに、主旨に合った利用のされ方がされているのかと言う事です。

メンバー 29 : 今の現状では 1 回でも利用があれば参加資格が得られるので、その指摘ですね。

メンバー 34 : フェスティバルに出るために 1 回でも借りていけばいいんですか？

メンバー 29 : それも可能です。実際にはそのような人は少ないですが。

メンバー 12 : 12 月の公演はオケにとって非常に重要で、抽選に外れたら他をあたるしかありません。社会人なので平日の公演は難しいんです。ホール稼働日が年間 249 日のうち、自主事業が 143 日もあると土日に文化の家のホールを一般利用抽選に出す日数が凄く少なくなってしまうです。

メンバー 29 : P. 19 は自主事業で舞台系が 49 なので、全体では 140 数件あるが、舞台は 49 です。

メンバー 21 : 今のメンバー 12 さんの意見は利用者の目線での意見として聞きました。

文化の家は自主事業が多いので、精査して必要な事業をこれからもやってほしいです。

メンバー 34 : P. 23 近隣のホールとの比較は、名古屋や春日井や可児など、自主事業を頑張っているところと比較ができるようにしてほしいです。愛知県に限らず。

メンバー 2 : はい。

メンバー 21 : ちょうど某市さんが来ているので、某市ではどうですか？

傍聴者 2 : まったく同じホールはないので事情はそれぞれ違うと思いますが、某市の自主事業はだいたい 80 くらいです。

傍聴者 1 : 数え方によっても変わってきます。同じ映画を 3 回上演して 1 回と数えるか 3 回と数えるか、フェスティバルが 2 日間あって出演団体が 50 あったとして 1 と数えるか 2 と数えるか 50 と数えるか。数え方によりますが、長久手は一生懸命やっている素晴らしいホールだと思います。

メンバー 12 : 市の行事はどのくらいあるんですか？敬老の日とか市の行事など・・・。

メンバー 21 : 市の行事はどのように受け入れるんですか？

メンバー 31 : 基本的に受け入れています。

メンバー 21 : キャパ不足の問題に対しては、インターネットで市内他施設の空き状況もわかるようになれば良いと思います図書館のギャラリーとかもありますし。いかに市全体の稼働率を上げるか。

メンバー 34 : 利用していて思うのは舞踊室を何故 1 つしか作らなかったのかと。それと、今文化の家はインターネットで県の施設予約システムを使っているが、使い勝手が悪い。市の施設の予約に関する一元化システムを作るべき。申込や登録団体も 1 本化して。その際は 2 ~ 3 クリックで操作できるようにしないと誰も使わない。現状ではこの部屋が使えなかったら他にもここがある、と知らない人も多いと思う。そのような代替施設検索

や申請ができると舞踊室や音楽室など AL の稼働率が高い部屋のキャパ不足への改善になるのではないのでしょうか。なんでやらないのか、やって!と思う。

メンバー 21：賛成します。

メンバー 17：データが出て議論が進んで良かったと思います。今回の市民優先予約制度が出た原因がホールを使いたいけれど使えないストレスからと推測できます。自主事業で土日を押しえているから希望日を諦めている人もいるでしょう。それを可視化できると議論がもっと進むと思います。

もうひとつ、今朝のニュースで世界で行っておくべき 8 つの場所に瀬戸内国際芸術祭をやっている直島が選ばれていました。公共施設は稼働率や収益率だけではなく、それに付随して得られる利便性や快適性のようなものも必ずあるので前向きにとらえたい。直島のアートの銭湯を例に出すと、島民は料金が安いがよそから来た人は高い。メンバー 12 さんが言っていたように、市民だと料金が安いならわかるが、予約の権利を優先させるというのは違うのではないかと思う。

メンバー 20：世話人でも苦労しましたが、P. 13 注 3 のとおり。38%の人が予約が取れて、平日は空きがある。どうしても土日がほしいと言うことでストレスがあるのでは。

メンバー 15：ホール休館日である火曜日を貸出し対象にしても平日だからあまり意味が無いのではないか。市民優先制度の以前に、利用したい人が利用したい時に利用できない確率をいかに低くするかが重要なのではないのでしょうか。そもそも、なぜホール休館日が必要なんですか？

メンバー 29：ひとつは点検の必要性から。年に 10 回は必要です。もうひとつは費用面から。稼働させると光熱水費や人件費などが発生する。定期的な保守点検には連続した日にちが必要。

メンバー 14：今回のテーマは施設利用と市民優先。施設利用については、練習室が足りないなら小中学校の体育館開放のように音楽室を開放してもらったらどうでしょう。

優先団体は条件を満たすのが 3 団体なんですね。半分が市民と言う条件が引っ掛かります。文化は住んでいるところで分けるものじゃない。文化を愛する人たちが利用しやすいように私たちが提案できれば。

抽選会では第 1 希望第 2 希望…と希望日を書くんですか？

メンバー 31：くじを引いてもらって 1 番のくじを引いた人から好きな日にちを指名できます。

メンバー 14：そのやり方を変えるべき。希望日を書かせて競合した場合のみ抽選にしてはどうでしょう。名古屋市民ギャラリー方式で。使い勝手が悪いならみんなが使いやすくなるようにルールを変えていけばいい。

メンバー 20：これまで 1 回も発言されていない方はいかがですか。

メンバー 3：休日に予約が殺到しているので、平日に人が集まるしくみを作る方向を目指しては？

メンバー 12：優先団体の条件はハードルが高いと思います。だからこそ現在までに 3 団体のみの登録となっていると思います。このような状態ならば提携事業としてカバーできるのではないか。また、今はホールと AL の両方について話しているけれど、別々に話し合っただけではどうでしょう。市内の施設予約をインターネットで一元システム化する事は市の生涯学習推進会議でも意見として申し上げていますが予算も無くて反映されていない状態です。

メンバー3：平日の昼間にしか利用できない人もいるのではないのでしょうか。

メンバー31：その時間帯がいい人も多いです。各時間帯にそれぞれ利用が入っています。

メンバー12：P. 22 市内各施設の統計の取り方に違いがあるので一概に比較ができないと思います。

メンバー32：市民優先予約制度について、賛成の意見も反対の意見もよくわかります。ところで、名古屋のミュージシャンとここで会う事があるんですが、使用料の安さも魅力だけれど使いやすいからと聞くと誇らしく思います。文化というのは経済と似ている面があって、交流によって価値が生まれる。名古屋のアーティストが文化の家で公演をするというのは、別の視点でみると自分で場所を借りて良いものをやりにもわざわざ来てくれるととらえる事もできるんじゃないのでしょうか。メンバー12さんの所属団体も長久手だけで公演しているのはある意味もったいない事かもしれません。

メンバー5：メンバー32さんの意見に賛成です。メンバー34さんのシステム化の意見にも賛成です。話し合えと市から言う割にはそういう事はしない。言ったら働けています。

メンバー14：おもしろいことをしている団体を自主事業に取り込んではどうですか。団体同士をコラボさせたら2日必要だったホール利用が1日で済む。団体と文化の家のコラボでも良いですし。例えば子供向けのイベントだとしたら、お金さえ払えば空間を自由に使えると言う考え方ではなく、文化を教育としてともに育てるような思想を持った団体に。自主事業のレベルも上がるしつながりもできる。コラボして組み合わせることの相乗効果を。画廊などでもやっている試みです。

メンバー20：職員の方の意見は？

メンバー2：今日メンバー27さんがみえていないんですが、世話人会の話し合いの時に、利用者同士で調整するようなシステムを作るといいんじゃないかと。

メンバー30：土日の日数より多くの方が土日の枠を求めて抽選会にやって来る。極端に例えると土日の自主事業を全く廃止したとしても対応しきれないようなもともと無理な話をどのように解決していくか。今日は今までに無い発想の解決方法がいくつか提示されたし、それ以外にも色々な意見が出るといいなと思います。

メンバー19：市内のいろいろな施設を調べていて、利用率にばらつきがあるなあと感じました。さらに、行政の運用する施設なので縦割りで、用途なども絞られていて利用しづらい。

メンバー34さんのおっしゃったwebで、という意見は賛成だが、困難な道のりだと思う。

メンバー10：学校は貸出しについては本当に厳しいです。門戸が狭い。市全体のシステムがあると良いのですが、例えばまちづくりセンターだと市民活動をしている団体に優先して使ってほしいという思いで建てられた。市民の活動は全てが市民活動と定義すれば、一度登録すればどこにでも予約できるようなシステムもできるかもしれない。可能性はあるが障害もたくさんある。みなさんと考えながら解決していきたい。

メンバー21：別の視点から。バケツがあります。例えば森風光のホールありますが、これが森のホールだけだったらもっと問題。風があるだけ良い。バケツを大きくするしかない。もう1つは、エコハウスで職員相手に自主事業の演出家を呼んでデモンストレーションをやったんです。文化家自身がよその場所に行ってやるのは良いこと。また、今日の午前文化の家に保育園児を招いてデモンストレーションをやった。幼児教育。3つ目は、優先枠制度として、ルールを縛れば縛るほどごまかして入れちゃう。それもキリがないので、1人で縛るのは限界がある。5つ目は、皆さんが発表の場として自己実現の場と

して使うのは良いんですが、同じ土俵で話している以上、解決はしないと思います。

メンバー 34 : P. 13~14 で思ったのは、自主事業が多いから抽選に漏れるんじゃないじゃなくて、土日にやりたいから漏れる。そもそも 7 曜日で土日に共通して休みで日本中生活している以上、例えば自主事業を土日がゼロになったところで、全員は取れない。土日の日数は決まっているので、メンバー 14 さんが言っていたようにシェアすることもひとつの方法。長久手にホールが 100 個できないかぎり解決しない問題。

優先予約の条件も、人数が多い団体で全員がプレイヤーなら 10 人以上の規定はすぐ満たせるけれど、2~3 人でコンサートを企画するのは対象外となってしまう。申し込んでくれるなという意味ならもっと条件を厳しくすればいいと思う。各年齢層まんべんなくいれること、とか。

メンバー 12 : 県の施設を利用したい時は、個人で登録しておきインターネットで期日までに申し込むと結果をインターネットで見られるようになっていきます。長久手フィルではモリコロパークとか口論義公園などの県の施設で団員がそれぞれ個人で登録してみんなでいっせいにネットで抽選に申し込みその中の一人の団員が抽選に当たり施設を借りることができました。オーケストラ内でも文化の家の抽選に当たりにくいことがわかってきて練習場所の確保が難しくなってきたので、私たちは演奏会のための練習場所探しを団員が努力し協力しあって最近は確保してきています。ですから文化の家の AL の確保には格別な不満を抱く状況は解消しつつあります。今回市民優先予約に認められているのは、地域密着の団体です。だからハードルが高くてもクリアできているのだと思います。本当に市民優先枠必要なのかな、と。メンバー 32 さんの言ったことについては、私たちはアマチュアなんです。アマチュアの演奏に対して行政は絶対自主事業として扱わないと思います。メンバー 32 さんたちは音大を出て、プロなんです。私たちは半年練習してやっと 1 回の演奏会を持つことができます。アマチュアとプロと一緒に何かやるとなれば、それはそれは大変であると、私は日頃楽器演奏を趣味で楽しんでいますので感じていません。なかなか理想的には難しいんじゃないかな、と思います。それと、文化の家は税金で自主事業やっていますので、高いお金で呼んできてもチケットが売れない場合、森のホールではなくて風のホールで自主事業やればいいね・・・と思います。長年の蓄積の中で、お芝居系は森でガラガラだと演じる人も気の毒だからと、最近は風のホールにシフトしたり、文化の家もそのように工夫されてるなど資料の中で感じます。文化協会の芸能部加盟サークルは、100 の練習より 1 つの舞台ということで年に 1 回芸能発表会を開催しています。この発表会をめざして練習することが、365 日の会員の文化的な色どり、自己実現、人生、生涯学習となっていると思っています。私は市民優先制度について考える時に、基本はアマチュアに対する文化の家の優先制度はどうあったらいいかという視点で、皆さんで考えていただけるといいなと思うんです。

メンバー 32 : アマチュアであっても何かが届くから舞台でやる意味があると思います。横浜とかは学生のビッグバンドが好評で、プロって何だろう？と考えさせられます。アマチュアであっても届くものはある。

メンバー 12 : 舞台の内容をプロとアマでシェアするのはまだ難しいと思います。日程をシェアするのは可能かもしれません。

メンバー 32 : ヴィクター・ウッテンという世界的ベーシストが言っていたんですが、音楽というのは言語と一緒にあると。赤ちゃんは言語を使いこなしている大人と一緒に生活しな

がらだんだん言葉を覚えていくけれど、音楽も本当はそれと同じであるべきだと。むしろそういうことが可能だからこそ音楽の素晴らしさがあると言っていて、それに賛同しています。メンバー12さんのような考え方の方もいるし、いろいろな方がいるんです。

メンバー20：他にご意見は？

メンバー21：稼働率の話で、経費がかかるから休館にするのは本末転倒だと思います。また、直島は観光客を対象としている。ちょっと目線が違うのではないかとも思います。

メンバー29：参考までに、可児市は抽選ではなく、その月に利用したい団体を集めて可児市が利用者を選択して結果を伝える方法です。制作ものが多いので自主事業を除くと可児市は30%くらいの稼働率かと。長久手市の方が文化度というか、文化団体の数も多い。直島はベネッセが運営している。福武の考え方では、経済は文化のしもべ。文化があつて経済がまわると言う考え方です。そのように考えて、実行していけばもっと文化度は上がるのではないのでしょうか。

メンバー14：福島に住んでいる時にこども劇場を作りました。会員は100人集まったけれど場所が無くて60~80か所小中学校をまわって、やっと体育館を使わせてもたえた。名古屋の中学校で展覧会をした知人も、熱心に売り込んで何年か中学校で展覧会を開催できた。ハードルは高いと思うが、みんなが言い続ける事でハードルが下がると思う。良い前例を作らないと。壊したり防犯上良くないような悪い前例を作らないように。

メンバー17：教育委員会という壁がありますが、キーワードは「土日」。文化の家を土日に使いたい理由は何か。ピアノ、設備、立地など？文化の家固有の理由でなければ、市内に県立大学が2校もある。しかも学校だから土日はあまり使われていないのでは？土日が人気の理由を突き止めると、対策もできるのではないのでしょうか。

メンバー15：発表の場や練習の場という発言がありましたが、それだけの場なのか疑問です。文化の家は感動を体験する場であり、文化に触れる機会のない人が文化に触れて感動してもらう場なのでは？人気の土日に集中しているが、プロのいいものから感動を体験できる場であるべき。発表会の場所が無いと言う話にしか聞こえない。

メンバー20：今日色々なアイデアが出ました。清水先生からも色々な論点が表示されています。アンケートからも。論点整理をしたものを次回お示ししたいと思います。今日広げた話を整理します。

メンバー29：WGメンバーとして、発言しますが、市にたくさんの施設がありますが、文化の家がいちばん開かれていると思います。他は使い勝手が悪い。

メンバー20：入りやすいですしね。

メンバー12：なぜ文化の家でやりたいか、それは長久手にあるからです。私たちが長久手で活動しているからです。文化の家の自主事業でPR不足で入場率の悪いものもあります。反対にアマチュアでも多くの人が入る公演もあります。

メンバー10：大学連携のハードルは更に高いです。駐車場の管理から何から。市営・県営・民間の違いもあります。

メンバー14：リニモ祭からはじまり学生がまちに出てきています。それを研究材料として応援している先生もいるでしょう。お互いの関係を良くしてコラボなど。前向きに。

メンバー12：音大を出たら「先生」で、1回30分弾いてもらうと謝礼も発生するんですよ。

メンバー14：チャリティーコンサートを学生さんと組んでやりました。無償でやってくれる人もいます。いい出会い、感動で動く人もいますので大丈夫！お金をとる「仕事」の活動を

していても、それとは別に動いてくれる人はいるはずですよ。

メンバー20:アーティストが無償でやってくれるのが良いとか、有償は、となるとちょっと・・・

メンバー29:稼働率が高いのはリピーターが多いからと言うのもあります。今は改善されていると思いますが、昔は名古屋市のホールが使いづらくて長久手に来る人が多かった。スタッフもいいし。リピーターの口コミで新規利用者も増えています。

メンバー5:2002年から11年間文化の家を使っているのは、文化の家が好きだから。抽選で希望の日が取れなくても、たとえ2日間でも50人の作家の作品を展示したいと思うくらい使わせてもらってる。そんなに好きな文化の家のスタッフの人がいじめられないようここに来ています。それで稼働率を上げているうちのひとつのイベントを12/13~15に展示室で開催します。

メンバー20:いい締めをしてもらった。(笑) 次回からは意見の整理に入っていきたい。

メンバー29:12/17(火)に武豊町民会館に視察に行こうと思います。12:30文化の家集合、13:30武豊着—(視察)—15:30武豊発、16:30文化の家着くらいの予定。市の公用車で行くので10人くらい。現地集合も可です。

参加希望者…メンバー34、メンバー15、メンバー21、メンバー12、メンバー17(現地集合)、メンバー14(仮)

また、希望の人がいたら連絡ください。

メンバー15:世話人について、月に複数回開かれる打合せに対して仕事の都合も付けづらく、迷惑をかけてもいけないので世話人会を辞退したいと思います。WGは積極的に参加します。

メンバー20:市民からの世話人が私とメンバー27さんだけになってしまいました。ここで提案ですが、来年度以降、今後のWGのあり方世話人会のあり方を考え直した方が良いと思っています。世話人はこのまま1人減のまま短期間ですから続けようと思います。

某市さん、もし良かったら傍聴された感想をお聞かせください。

傍聴者1:需要と供給のバランスが取れていないと感じました。今回は供給が足りていなくて、1つは施設がない、もう1つは土日がない。施設が足りない事と土日に空きが無い事を別の視点で捉えると、実はそれでも稼働率が50%の月もある。みなさんは文化に理解のある人方ですが、文化に理解の無い人が例えばコストカットを唱えたら、みなさんが一丸となってこの建物を盛り上げないと。半分も使われてないようなこんな施設はいらないと言われてしまわないように知恵を集めてほしいと思います。利用者としての立場もあると思いますが1人1人がホテルの支配人になった気持ちで、平日の魅力を高めるにはどうすればいいのか?などの視点も加えて考えてもらえればと思います。

メンバー20:ありがとうございました。次回は12月19日(木)です。お疲れさまでした。